

主催：キャリア・センター

SPI2 テストセンター模擬試験

運営：(株)学研メディア

※この模試は自宅等のパソコンで受験するものです。

受験には動作環境として、Internet Explorer 6.0以上、またはMozilla Firefox 3.0以上のブラウザと、Adobe Flash playerがインストールされている必要があります。

2008年度採用において、9,800社の企業で導入されたSPI2シリーズ。その中でも最も利用されているのが、「テストセンター」です。従来のペーパーテストとは異なり、パソコンで受験するのが大きな特徴です。大手人気企業では応募者の8割が落とされるといわれていますが、なかなか本番に近い形で練習することができないので、この機会にぜひ受験してください。

▼SPI2「WEBテスト」「テストセンター方式」▼

パソコンで受ける試験には「WEBテスト」と、「テストセンター方式」があります。この2つの大きな違いは、①自宅のパソコンで受けるか否か、②問題が固定式か変動式か、③1問ごとに制限時間があるか無いかです。

WEB
テスト
方式

WEBテストは、企業にエントリーしたとき、もしくはエントリーシート提出の際に、自宅のパソコンで行われます。この試験では、受験者が確かに本人か、参考書などを見ながら受けていたりしないかなどを確認できないという問題点がありますので、企業訪問時に再度テストを行う企業もあります。

ペーパー版同様、問題内容は固定式で設問ごとの時間制限もありませんが、WEBテストサービスのみの特徴的な「文字入力」による回答方式の問題が多い。(特に非言語能力では、ほとんどの設問が文字入力による回答方式のため、選択式のようなまぐれ正解は期待できません。)

テスト
センター
方式

テストセンター方式は、運営会社のリクルートマネジメントソリューションズが設けた、パソコンの整備された専用の会場で行われます。

エントリーした企業から「いつまでに受験して欲しい」との連絡を受け、パソコン上で受験日時を予約します。替え玉受験を防ぐため、受験の際には受験票や身分証明書などの提示を求められます。

今後、数年のうちにすべてテストセンター方式に変わるのではないかとされているくらい、テストセンター方式を利用する企業は急増しています。

特徴としては、受験者の回答状況(正誤)により出題内容(難易度や問題テーマ)が変化します。また、設問ごとに制限時間があり、時間が来ると自動的に次問題に切り替わります(問題を解く力があっても制限時間内に回答できなければ無意味に終わることになります)。一度次問題に切り替わってしまったら前の問題に戻ることはできません。

◆模擬試験の特徴◆

□都合の良い日時に受験できます(受験期間内に限り)

ネット環境が整っているパソコンがあれば、いつでもどこでも受験することができます。(学内のパソコンは利用できません。)

□2回の受験が可能です(受験期間内に限り)

受験形態に慣れることを目的に2回の受験ができるようにしました。(計算用の紙を用意してください。)

□繰り返し復習することが可能です(受験期間内に限り)

「解答解説」のページには何度でも入ることができますので、繰り返し復習することが可能です。

また、模擬試験時に体験できなかった難易度の高い問題と解答解説についても一部見ることができますので、実際2回分以上の問題が体験できます。

□本番さながらの内容です

設問ごとに制限時間が設けられ、時間が来れば強制的に次問題に移動します。

また、回答状況(正誤)により、出題内容(難易度や問題テーマ)が変化します。

□試験結果は終了後に画面上ですぐに確認できます

「成績表」のページでは、得点のほかに受験回ごとの全国、校内、文理系別の順位や平均点が表示されます。(受験期間内であれば繰り返し確認可)。

SPI2・テストセンター模擬試験実施要領

受験方法：受験に必要なID、パスワードを購買センターでお渡ししますので、**2010年7月6日(火)までの間に2回分受験してください。**

受験料金：1,800円(税込)

申込方法：購買センターで受験料を添えて申し込んでください。

申込期間：10年1月12日(火)～10年3月31日(火)まで

受験期間：10年1月12日(火)～10年7月6日(火)まで

お申し込みはこちら [購買センター](#)